



あゆっ子

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」 No.9

「あゆっ米」今年も豊作？

地域の皆さんの御支援、御協力のもと、今年も種まきから始まり、田植え、すがい作り、稲刈りとはぎ掛け、脱穀、もみ摺りとたくさんの工程を子供たちは体験し、あとは精米をお願いするところまで無事進むことができました。

気になる今年の収穫量（もみ摺り終了の段階で）は・・・
171kg! 昨年より少し少なかったようですが、それでも猛暑、雨不足の今年の気候の中でよく育ってくれました。

もみすり後の玄米は、年明けに業者に精米と袋詰めを依頼した後、5年生がラベル作りなどの販売の準備を進めます。6年生は昨年度の6年生が残してくれた成果と反省をもとに、現在、販売に向けた新たな戦略を練っているところです。販売は2月9日(月)で、今年も「森のマルシェ きこり」さんに協力していただき行う予定です。6年生の頑張りに応援よろしくお願いします。なお、できあがったお米は、例年通り、全校の子供たちに配るとともに、これまでに授業や行事等でお世話になった地域の皆様にもお渡しし、感謝の気持ちをお伝えする予定です。出来上がりが楽しみです。



お米作り「光」と「影」

下阿多古小学校のお米作りの歴史は長く、地域の方の協力を得て毎年おいしいお米を収穫させていただいています。とてもありがたいことです。

しかし、近隣の田畑をめぐってみると「獣害」にあわれたところも見かけます。各地でも今年はクマの話題がニュースに上がりますが、この下阿多古地区でも、サルによるいたずらや攻撃、シカやイノシシによる農作物の被害が多く聞かれます。田んぼでも網を張っても破られる、さらに破られたところから侵入して稲の穂だけをすべて食べられてしまった田んぼもありました。

子供たちにも、このような実状も紹介し、無事収穫できたことへのありがたみと感謝の気持ちが持てるよう、紹介し、ふるさと下阿多古のために何ができるか考えるきっかけにしたいと思います。



校庭の樹木の剪定をしていただきました

16日(日)に、阿多古川環境保全協議会の方々に、学校や園の樹木の剪定をしていただきました。正門前や校舎前の中庭、運動場などの樹木がきれいに刈り整えられ、子供たちが気持ちよく生活できる教育環境となりました。整備された樹木を見て、学校が地域の皆様に支えられていることをあらためて実感しました。

本当にありがとうございました。

